$$P_2 = X$$
 とおく。 $P_i = \|\dot{m}_i\|^2 \dot{g}_i$ に注意すると、(3.68)は、

$$H = \frac{1}{2} \left(\| \dot{m}(g_1) \|^2 \dot{g}_1^2 + m_2(g_1)^{-2} \alpha^2 \right). \tag{3.69}$$

$$\Rightarrow \int \frac{8}{\sqrt{2H-m_2(u)^{-2}\alpha^2}} du = t \qquad (3.70)$$

8,(t)は(3.70)の積分の逆関数で与えられる。

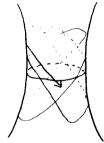
例360 10(11)=(11,1)のは回転面公は円筒. (370)の左辺は、

$$\int_{0}^{8} \frac{1}{\sqrt{2H-\alpha^2}} du = \frac{8I}{\sqrt{2H-\alpha^2}} + C$$

回転面の測地流は、2つの第1積分をもつ(Hと P2).よって完全積分可能である。

はがって曲面がコンパットであれば、定理3.52により、解は準周期解が周期解.

周期解 → 閉び測地線, 準周期解 →



準周期的 は測地線

問6. m(u)=(u,2u)の場合の測地線